

その面倒なパッチパネルの配線変更、
ロボットにやってもらいませんか？

光配線切替ロボット ROME500

ROME (Robotic Optical Management Engine) は、機器間の配線切替をロボットによる光ケーブルのつなぎ替えで実現した L 1 スイッチです。

ラボ内のトポロジ変更、データセンタ内の配線切替などのスマートな運用が可能になります。

この配線を切り替えた
の誰？

抜去するケーブルを
間違えた!!



このケーブル
どこに繋がっているの？

ケーブルが絡まっている・・・

エレガントな配線

手動による配線切替はケーブルの取り回しが煩雑になりがちです。ROME500では機器内部で配線切替を行うため、パッチパネル周りの配線が整然となります。またロボットが配線切替を行うためヒューマンエラーによる事故が防止できます。

配線管理の省力化

ROME500が現在の接続状態を管理しているため、接続状態をすぐに把握することができます。配線切替は権限を与えられたユーザのみが可能であり、また作業履歴を記録しているため、セキュリティ性が向上します。

リモート作業

データセンタ、ラボへ入室することなく、リモートで配線切替が可能です。また、遠方にある配線の切替が可能になり、コスト及び環境に優しいシステム運用が可能になります。



ROME500は、機器間の配線替えをロボットによる光ケーブルのつなぎ替えで実現したスイッチです。

MEMS方式、O-E-O方式と比べて挿入損失増加の影響が少なく、電源断時も接続状態を維持します。

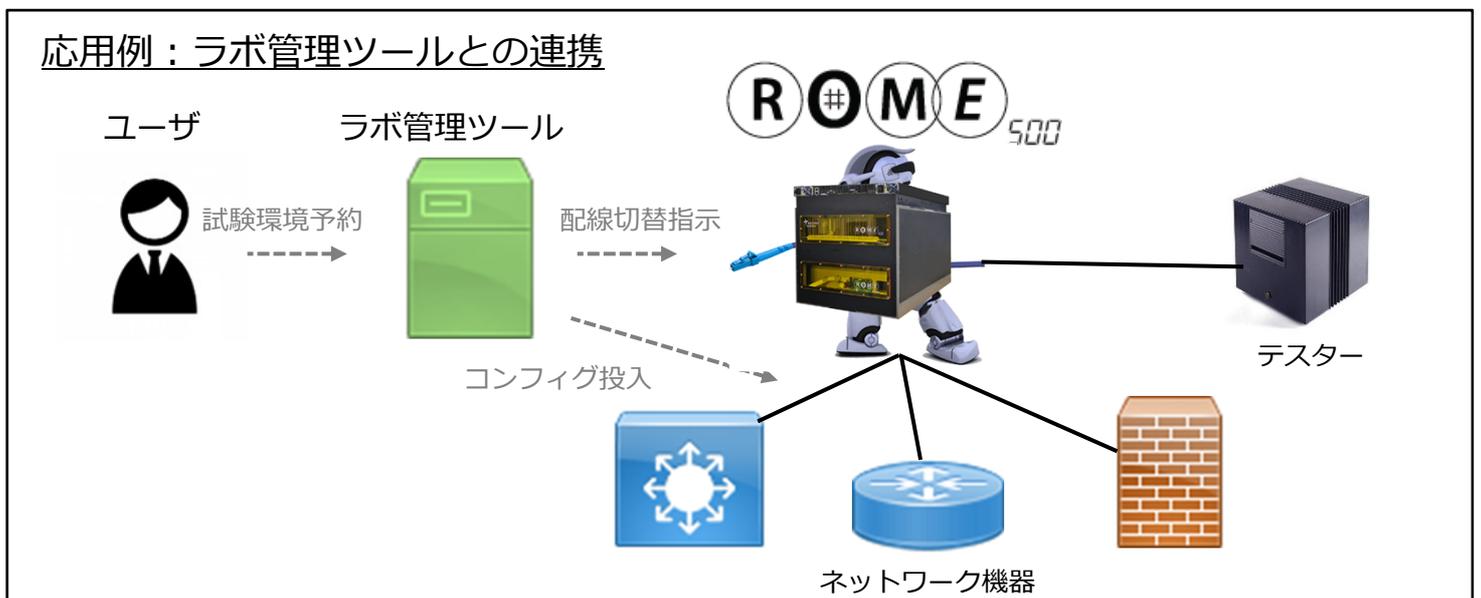


■ 仕様

サイズ	本体 : 442mm (W) x 443mm (H) x 791mm (D)、(87kg) LCU※ : 444mm (W) x 44mm (H) x 698.25mm (D)、(13.5kg)
電源 (1電源入力当り)	LCU: 100-240V, 50/60Hz 4A or -48/-60 V, DC 8A 本体:LCUから供給
消費電力	55W (スタンバイ時), 155W (スイッチング動作時)
ポート数	512ポート (256接続)、但し、128接続の2set
ファイバ	Single Mode SMF-28e, Multi-Mode OM4
光損失量	挿入損失: 最大1.0dB (パッチパネル-パッチパネル間) 最大0.5dB (ROME単体)
反射減衰量	Single Mode : -50dB (UPC), -60dB (APC) Multi-Mode : -25dB
必要ラックサイズ	Main Chassis: 19インチ, 10RU LCU : 19インチ, 1RU
インターフェース	RJ45 (Ethernet)、DB9 (Console)
UI	CLI、GUI
セット構成	本体 (スイッチング機構)、LCU (コントロールユニット)、レール パッチパネル (光コネクタ種類選択可能)

※Logical Control Unit

応用例：ラボ管理ツールとの連携



※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。

201810D

<お問い合わせ先>
 セブンシックス株式会社
 〒106-6117 東京都港区六本木6丁目
 10番1号 六本木ヒルズ森タワー17階
 ホームページ : www.sevensix.co.jp
 E-mail : info@sevensix.co.jp
 東京営業部TEL : 03-6721-1077
 大阪営業部TEL : 06-6195-3610